

## 平成23年度 事業報告書

平成23年 6月 1日から平成24年 5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

## 1. 事業の成果

当年度は、（1）聴覚障害者のスキー技術の向上を図る為、第9回西日本ブロックスキー講習会を実施、第15回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催しました。（2）聴覚障害児のスキー普及活動の促進を図る為、昨年に続き3校のスキー教室への講師を派遣しました。（3）聴覚障害者へのスキー啓発・広報を目的として、以前から継続しているホームページを通じて活動の紹介や情報の提供をしました。以上の3点を重点課題として下記の事業に着手しました。

（1）の聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業のうち、1月に開催を計画していた「正月レベルアップ合宿」は中止としました。

2月に計画していた「第9回西日本ブロックスキー講習会」は継続事業として兵庫県奥神鍋スキー場で開催しました。9回目となる今回は西日本在住の児童・生徒も含め参加者を募り、西日本のデフわんぱくスキー教室を兼ねて実施しました。過去のデフわんぱく指導経験者を揃え、小中学生の指導経験がある指導員が協力し担当することで、児童・生徒がのびのびと受講することができ、保護者にとっても安心して預けられる事業になりました。また、今まで子どもを対象としたスキー指導の経験が無い指導員にとっても指導対象者の幅を広げる機会となり、今後の西日本スキー講習会の可能性を広げることができました。

3月に長野県菅平高原スキー場で「第15回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を開催し、52名の参加者を集めて盛大に行われました。今年はゲスト審判として元デモンストレーターを2名招聘し、各種目の前走を務めていただきました。日本のスキー界男女のトップアスリートによる最先端の滑りを披露できたことは、参加者にとって贅沢なデモンストレーションとなりました。

（2）の聴覚障害児を対象としたスキー教室については、主催事業として継続開催しているデフわんぱくスキー教室を1月に実施しました。この事業は大規模地震の発災により昨年度実施できず2年ぶりの開催であったため募集開始後1週間には満員御礼となり、リピーターは久しぶりの再会を喜んでいました。

継続事業となっているろう学校スキー教室派遣事業は、昨年に引き神戸聴覚特別支援学校スキー教室が兵庫県ハチ北スキー場で開催され、高等部の生徒に対し6名の講師を派遣しました。岡山ろう学校スキー教室は鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場で開催され、高等部の生徒11を対象に3名の講師を派遣しました。

また、昨年度講師派遣を実施した神奈川県川崎市の特別支援学校から、今年度もスキー教室の講師派遣依頼がありました。昨年度は中学生だけの参加者で実施していたこの事業に、今年度は高校生も加わったため参加生徒が10名に増えたため、昨年度1名の講師派遣であったところ2名に増やしました。このスキー教室への講師派遣が継続していること、さらに参加者の人数と対象年齢の幅が広がったことは、講師派遣が好評価であったことの証明であり、講師派遣事業の成果と捉えています。

（3）聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動としては、スキー用語手話の活動実績はありませんが、（財）全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が確定した技術スキーのサイン用語（63単語）を、引き続き当会のホームページに掲載し不特定多数の方に活用してもらっています。

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
スキー指導に関する事業	正月レベルアップ合宿	中止				0.0
同上	神戸聴覚特別支援学校スキー教室派遣	1月25日 ～1月27日	兵庫県 神鍋スキー場	7名	神戸聴覚特別支援学校 中学部 35名	0.0
同上	川崎ろう学校中学部移動教室	2月1日 ～2月3日	山梨県 ふじてん スノーリゾート	2名	川崎ろう学校 中、高等部の10名	0.0
同上	第9回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	2月11日 ～2月12日	兵庫県 奥神鍋スキー場	10名	西日本在住の聴覚障害 児・者の44名	542.0
同上	岡山ろう学校スキー教室	2月1日 ～2月3日	鳥取県 だいせんホワイト リゾートスキー場	3名	岡山ろう学校 高等部 11名	0.0
全日本聴覚障害 スキー技術選手 権大会の開催事 業	第15回 全日本聴覚障害スキー 技術選手権大会	2月24日 ～2月26日	長野県 菅平高原スキー場	8名	全国の聴覚障害者の 約52名	208.0
スキー指導に関する事業	第5回 デフわんぱくスキー教室	1月27日 ～1月29日	長野県 菅平高原スキー場	37名	全国の聴覚障害児の 約57名	2,106.0
聴覚障害者への スキー啓発・広 報	ホームページや各種事業の対話・ 交流を通じて、活動内容を不特定 多数の方への紹介 また情報交換の場として、機関誌 などの発行、総会の開催	通年	事務所	5名	不特定多数	310.0